



一線を越える時、守れるものはひとつだけ。

THE LIMIT

世界自然遺産・知床で交差する2つの種、熊と人間の共生のリミットとは一。

製作:斜里町 協力:公益財団法人 知床財団 撮影:今津秀邦JSC / 小野田倫久 音楽:児玉梨奈 編集・音響:今津秀邦
プロデューサー:伊藤友一 制作:鳥羽恭彰 / 中村真人 / 細谷壘 監督:今津秀邦
プロモーション:20パーセント 総合プロデュース:株式会社道新サービスセンター 制作:ワンドリームピクチャーズ

20分・5.1ch

知床自然センター MEGASCREEN
KINETOKO
SHIRETOKO NATIONAL PARK NATURE CENTER MEGA SCREEN KINETOKO

それでも人とヒグマは、 共に生きられるのか。

今、知床ではヒグマと人間の共存に必要な距離が保てなくなってきている。
互いの生活圏の境界線が重なり、ニアミスの頻度が高まっているのだ。
不幸な事故を避けるため、知床の現場では日々何度となくパトロールが行われ
目撃情報があれば駆けつけてクマを遠ざけるよう奮闘する。
地元住民や子どもたち、観光客への啓蒙活動を進め、共生の道を探る日々。
しかし、それにも限界が近づいてきた。
会議を重ねても対策の結論は出ず、無情に経つ時が、
人とヒグマの距離をさらに縮めていく。
このままでは、いつ事故が起こってもおかしくない。
そんな中、ヒグマの親子が現れた。母親、そして子グマの運命は—。

「THE LIMIT」は、世界自然遺産としての知床が
人とヒグマの間で苦悩する様を冷静に見つめる。
辿り着く答えは人それぞれだろう。正解などどこにもないのかもしれない。
それでも、より良い解決のために限界まで知恵を絞るのは、
私たち人間の果たすべき責任だ。



【今津秀邦監督プロフィール】

北海道旭川市出身の映像作家・カメラマン。日本映画学校卒。動物の「行動展示」で名高い旭山動物園のポスターやパンフレットの写真撮影を2002年より担当し、海外のTIME紙や書籍、商品等への提供多数。旭山動物園の奇跡を描いた映画「旭山動物園物語 ペンギンが空をとぶ」(マキノ雅彦監督)では本編の動物撮影を担当。2017年、5年の撮影期間をかけて北海道の動物たちと自然をありのままに切り取った映画「生きとし生けるもの」で監督デビュー。その映像性が高く評価され、2017年度日本映画撮影監督協会 JSC賞をはじめ受賞歴多数。

【KINETOKOとは】

Kinematograph(映画)とShiretoko(知床)を名前の由来とする知床自然センター内の映像館です。北海道最大級の高さ12m×幅20mのスクリーンに投影される4K映像は圧巻。待望の新作「知床の冒険」「THE LIMIT」の2作品をはじめ、迫力あるオリジナル映像を上映しています。

〒099-4356

北海道斜里郡斜里町大字遠音別村字岩宇別531番地知床自然センター内
Tel (0152) 24-2114 Fax (0152) 24-2115

営業時間/8:00~17:30(4/20~10/20)、9:00~16:00(10/21~4/19)

※年末年始は休業

知床
自然センター
情報はコチラ

center.shiretoko.or.jp



知床自然センター MEGAスクリーン

KINETOKO

SHIRETOKO NATIONAL PARK NATURE CENTER MEGA SCREEN KINETOKO